

## 令和7年度（住吉高校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	公務員としての自覚を持ち、公務外においても県民の信頼を失うことのないよう意識を高める。 行動計画 ・ 不祥事防止会議、不祥事防止研修会をとおして職員の意識向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不祥事防止会議、不祥事防止研修会をとおして職員の意識向上を図った。</li> <li>・ 職員行動指針・神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針について、職員室内に掲示するとともに、毎職員会議で校長が確認を行った。</li> <li>・ 服務規律を遵守した。</li> <li>・ 服務規律に関する研修を行った。</li> </ul>
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	働きやすい職場環境を整えて協働できる体制を築き、ハラスメント件数はゼロを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お互いを尊重し、助け合いの精神を醸成した。</li> <li>・ 人権感覚を高める研修を実施した。</li> <li>・ 風通しの良い職場をつくり、ハラスメント防止を図った。</li> </ul>
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	他者の思いに気づく人権感覚を高め、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を行っている職員はゼロを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織的に生徒に対応することにより行為の根絶を図った。</li> <li>・ 教員と生徒間でのSNS等の禁止について継続的に確認し、徹底した。</li> <li>・ 生徒相談窓口の充実を図り、効果的運用に努めた。</li> </ul>
体罰・不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重して体罰・不適切な指導をなくし、体罰・不適切な指導はゼロを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対話を重視した生徒指導を行った。</li> <li>・ 生徒指導は複数で行い不適切な指導を防止した。</li> </ul>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故はゼロを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業一つひとつの意味を理解し、マニュアルの遵守と形骸化を排除する意識を確立した。</li> <li>・ 各自が入選業務全体を把握し、組織として各自の業務を確実に実施した。</li> </ul>
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出、情報セキュリティに関する事故はゼロを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報は暗号化ファイルサーバーに保存した。</li> <li>・ 個人情報を校外に持ち出す際は、所定の手続きを行い、慎重に管理することを徹底した。</li> <li>・ 職員室内での個人情報の扱いについては鍵のかかる場所に保管し、慎重に管理した。</li> </ul>

交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、公務中、公務外にかかわらず交通事故、交通違反のゼロを目標とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通法規を遵守し交通事故防止を図った。</li> <li>・不祥事防止研修会で酒酔い運転、酒気帯び運転の防止の徹底を確認した。</li> </ul>
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	高い倫理意識を持ち、適正な業務執行を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事を溜めず抱え込まず、業務の協力体制の構築に努めた。</li> <li>・業務の引継ぎを確実に言い、業務遂行の無駄をなくした。</li> <li>・必要な情報をすみやかに共有し、滞りなく業務が行えるようにした。</li> </ul>
財務事務等の適正執行	私費会計基準の周知と適正な会計処理に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な私費会計事務処理を履行し、速やかに処理を行った。</li> <li>・銀行振込を活用し、できるだけ現金を扱う機会を減らした。</li> <li>・現金は金庫で管理し、速やかに口座に入金した。</li> </ul>

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

不祥事防止会議企画の研修会や神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料を用い毎月繰り返し確認した。職員会議毎に、校長が神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針に触れて話をするなど、職員の意識向上に努めた。報告・連絡・相談を徹底し、職員間での情報共有を行い、適切な対応をすることができた。次年度も風通しのよい職場づくりに努め、職場全体で不祥事防止に努めていく。